

しもつけの環境

・・・環境状況報告書・・・
令和5年度版（令和4年度実績）



トウサワトラノオ



キツリフネ



カザグルマ



ジャコウアゲハ



オオイヌノフグリ



ショウジョウトンボ



ノアザミ



龍興寺のシラカシ

下 野 市

はじめに

本市では、環境の保全及び創造について、基本理念を定め、並びに市、市民、事業者及び滞在者の責務を明らかにするとともに、環境の保全及び創造に関する施策の基本となる事項を定めることにより、環境施策を総合的かつ計画的に推進し、もって現在及び将来の市民等の健康で文化的な生活の確保に寄与することを目的とし、平成 24 年 3 月に「下野市環境基本条例」（以下「基本条例」という。）を制定しました。

基本条例第 12 条においては「環境の状況及び環境の保全及び創造に関する施策の実施状況を明らかにした報告書」を定期的に作成し公表するものと定められています。

また、平成 25 年 3 月に策定した「下野市環境基本計画」（以下「基本計画」という。）の中では、環境調査・測定結果や計画の進捗状況、市民等の環境保全活動などのさまざまな情報を体系的に整備し「しもつけの環境」として市民等へ提供、発信することを取組のひとつとして掲げています。

この「しもつけの環境」は、基本条例と基本計画に基づき、下野市の環境状況や基本計画の進捗状況などをまとめ、皆様にお知らせする報告書として作成したものです。

本報告書を踏まえて今後の取組に反映させ、市民の健康で文化的な生活を将来の世代にわたって確保し、環境への負荷の少ない持続的発展が可能な社会の構築を推進します。

目次

1	計画の概要	(1) 目的	1
		(2) 計画の位置付け	2
2	計画期間		2
3	取組（施策）の体系		3
4	取組の状況	個別目標 1-1 多様な生物と共生する豊かな里の保全と再生	5
		個別目標 1-2 大地がはぐくむ豊かな水と健全な水循環の保全と再生	8
		個別目標 1-3 環境にやさしい産業の推進	9
		個別目標 1-4 良好な景観と歴史文化がかおるまちづくり	12
		個別目標 2-1 さわやかで澄んだ大気や水の保全と向上	14
		個別目標 2-2 安心してらせる安全で快適な生活環境の確保	17
		個別目標 2-3 放射性物質による環境汚染への対応	20
		個別目標 3-1 ごみゼロ社会の形成	21
		個別目標 3-2 資源が循環するしくみづくり	25
		個別目標 4-1 省エネの推進	26
		個別目標 4-2 創エネ・蓄エネの推進	28
		個別目標 4-3 環境負荷の少ないまちづくりの推進	29
		個別目標 5-1 環境学習・環境保全活動の推進	31
		個別目標 5-2 環境パートナーシップの形成	32
		個別目標 5-3 環境調査・環境情報の整備と発信	33

1 計画の概要

(1) 目的

今日の環境問題や課題に対応し、持続可能な地域社会の構築をめざしていくため、環境の保全と創造に向けた長期的な目標とその実現に向けた施策や取組を明らかにし、総合的・計画的な展開を進めていくことにより、基本条例に掲げた基本理念の実現を目的として、環境基本計画を策定しました。

下野市環境基本条例の基本理念

- 1 環境の保全及び創造は、健全で恵み豊かな環境が市民等の健康で文化的な生活に欠くことができないものであることにかんがみ、本市の特長を生かしつつ、この環境を将来にわたって維持し向上させ、現在及び将来の市民等がこの恵沢を享受できるよう積極的に行うものとします。
- 2 環境の保全及び創造は、歴史と伝統の下、人と自然が共生し、市民等が快適に生活できる都市と農村の実現を目的として、生物多様性の確保に配慮しつつ、自然環境、歴史的・文化的環境、生活環境及びまちの景観を良好な状態に維持し、向上させることによつて行うものとします。
- 3 環境の保全及び創造は、環境への負荷の少ない持続可能な地域社会を構築することを目的として、市及び市民等の公平な役割分担と協働の下に積極的に行うものとします。
- 4 地球環境の保全は、人類を含む生物すべてにかかわる課題であるとともに、市民等の健康で文化的な生活を将来にわたって確保する上での課題でもあることにかんがみ、すべての事業活動及び日常生活において積極的に推進されるものとします。

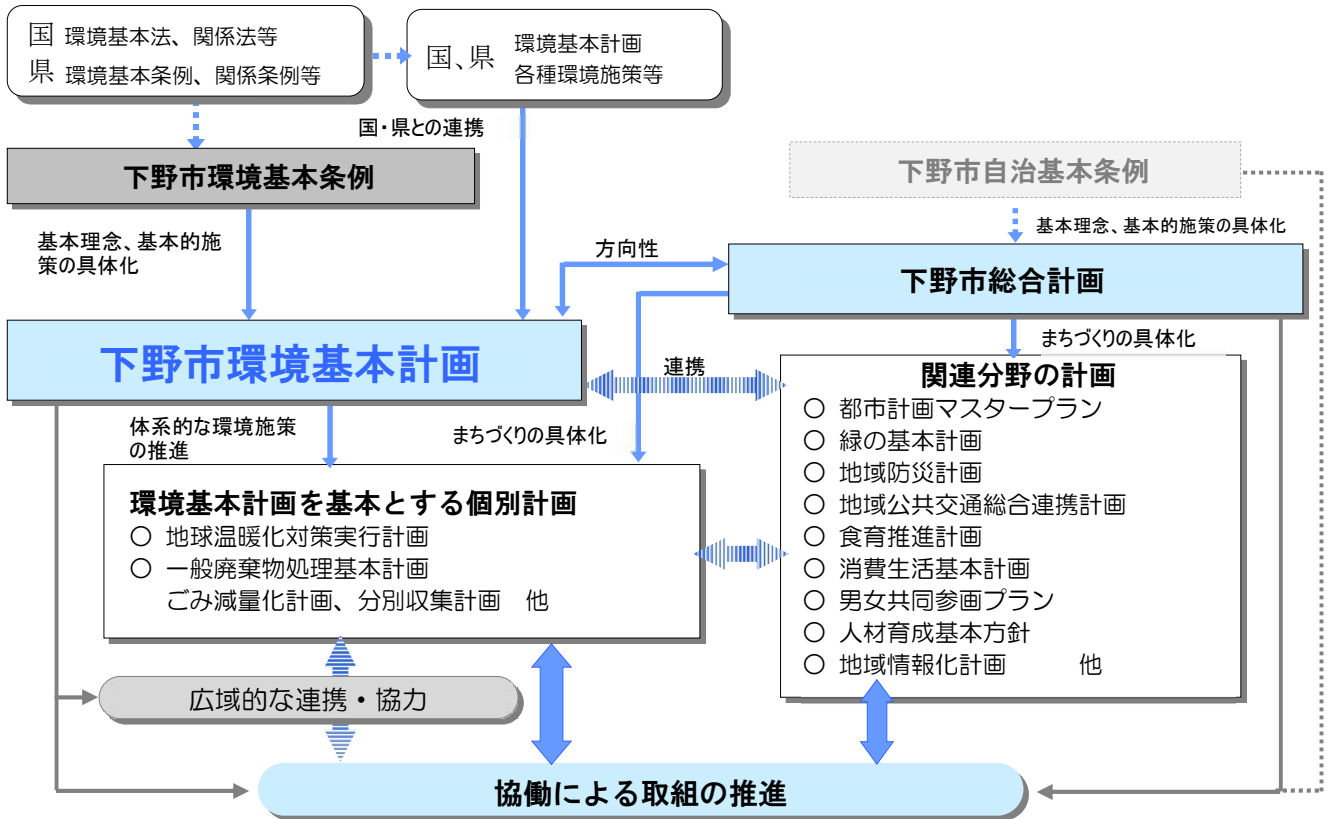


蔓巻公園沿いの姿川

(2) 計画の位置付け

基本計画は、基本条例第 11 条に基づいた環境分野における最も基本となる計画です。

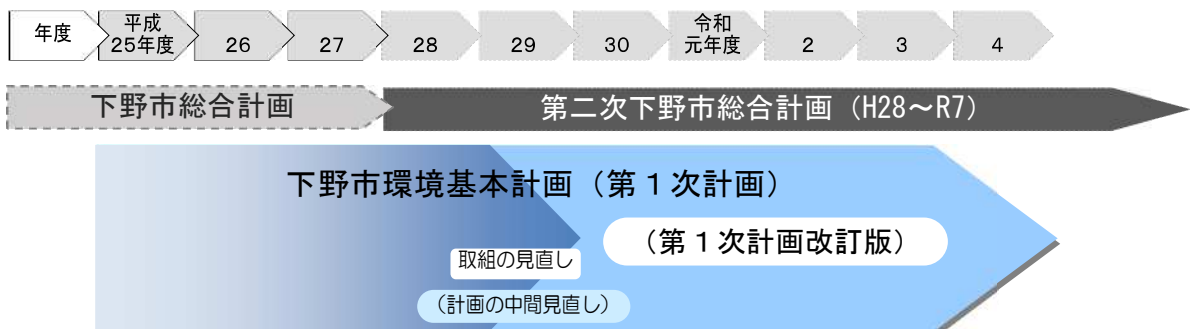
市の取組だけでなく、市民等との協働による取組の方向を示し、みんなが環境に関心を持ち、環境に配慮し、環境保全行動や活動を進めていくための「道しるべ」としての役割を果たしています。



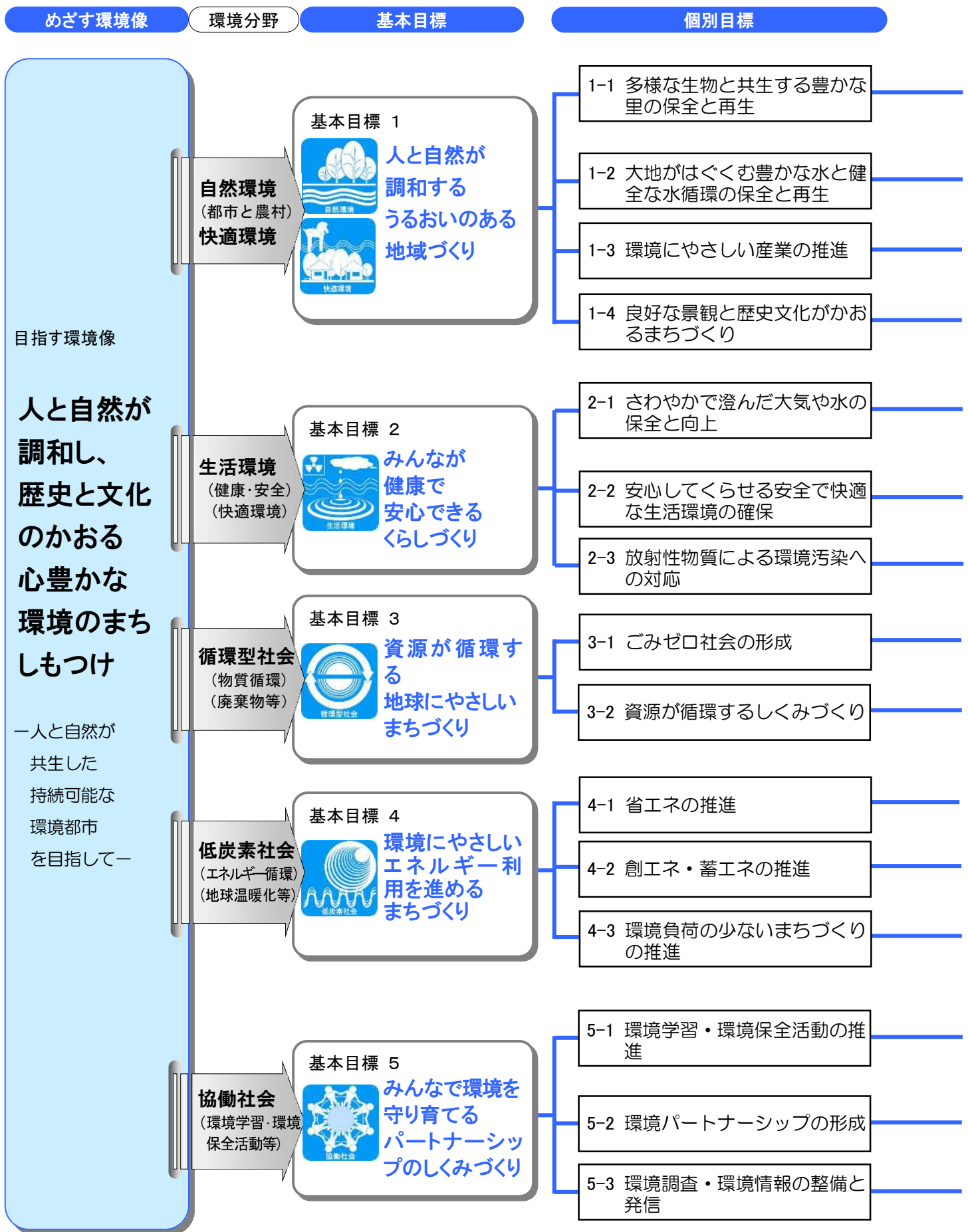
2 計画期間

基本計画の期間は、平成 25 (2013) 年度から令和 4 (2022) 年度までの概ね 10 年間を設定しています。また、計画に掲げられた重点的取組や施策、事業内容などについては、総合計画やその実施計画の見直しと連携して、点検・見直しを行います。

なお、計画策定後の社会情勢や環境の変化に対応していくほか、総合計画との連携を図っていくために、本計画期間の中間年である平成 29 (2017) 年度に計画の中間見直し (改訂) を行いました。



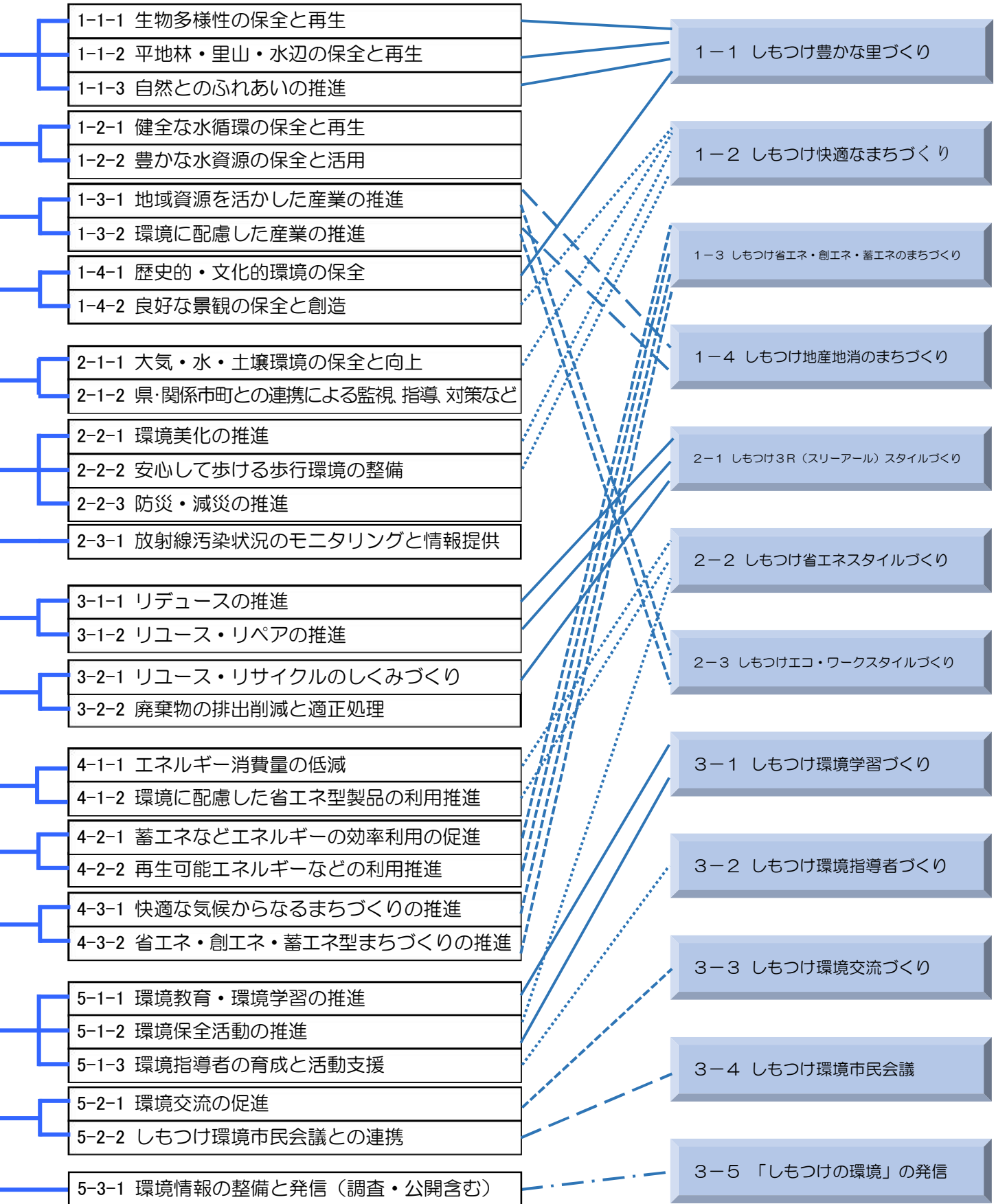
3 取組（施策）の体系



取組(施策)の方向

協働の取組(協働プロジェクト)

(市及び市民等が連携した取組)



4 取組の状況

個別目標 1-1 多様な生物と共生する豊かな里の保全と再生

1-1-1 生物多様性の保全と再生

環境指標		H28(当初)	H30	R元	R2	R3	R4
水辺や田んぼの生きもの調査参加者数	取組のめやす	—	500人(R4)				
	参加者数	463人	475人	481人	72人	28人	76人
	達成状況	—	95.0%	96.2%	14.4%	5.6%	15.2%
希少植物の実態調査	取組のめやす	—	R4までに調査、公表				
	取組状況	推進中	推進中	推進中	推進中	推進中	推進中
	達成状況	—	—	—	—	—	—
重点的に進めていく協働の取組内容							
★生物生息状況の調査(水辺の生きもの調査を含む) ※★は市の重点的施策							
○田んぼの生物多様性の向上							
○希少植物の保全・再生							

○令和4年度の取組状況

◆協働の取組

トウサワトラノオの保全活動では、吉田西小学校の廃校や小山北桜高校の学科改編、地元自治会の高齢化により、市民参加が困難となった一方で、保全地の雑草・水の適正管理及び種から育てる方法を検討しました。

【下野市トウサワトラノオ保存会 2回実施】

トウサワトラノオの観察会は中止しました。(新型コロナウイルス感染拡大防止のため)

農村環境保全会による生き物調査を実施しました。

トウサワトラノオ

※環境省における絶滅危惧種、最高ランクの「絶滅危惧Ⅰ類」に指定されています。サクラソウ科の多年草植物で、開花時期の5月頃には、白く可憐な花を見ることができます。名前の由来は、中国で多く生息することから、同国を意味する「唐(トウ)」と湿地を表す「サワ」、さらに花の咲き方が「虎の尾」に似ており、この名が名付けられたとされています。



◆市の取組

水生生物の生息環境の保全を目的とした河川公園の樹木剪定を実施しました。

有害鳥獣対策として捕獲檻の貸し出しを行いました。【貸出件数 14件】

○令和5年度の実施内容

トウサワトラノオ保存、保護とその生育環境を守る活動(梅雨明けの7月に保全地の草刈り及び雑草のすき込みを実施)します。

地域共同による農用地、水路、農道等の地域資源の保全活動や景観形成活動(花木等の植栽)、農村環境保全会による生態系保全活動(生き物調査)を実施します。

1-1-2 平地林・里山・水辺の保全と再生

環境指標		H28(当初)	H30	R元	R2	R3	R4
市民等による平地林(重点地点)の管理	取組のめやす	—	重点地点8地点(R4) H27以降、年1地点ごとに管理を実施		6地点	7地点	8地点
	参加者数	2地点	3地点	4地点	4地点	4地点	4地点
	達成状況	—	75.0%	50.0%	66.6%	57.1%	50.0%
平地林マップ作成と活用	取組のめやす	—	R4までに作成・啓発				
	取組状況	—	—	—	—	—	作成
	達成状況	—	—	—	—	—	達成
重点的に進めていく協働の取組内容							
★水辺環境の実態調査 ※★は市の重点的施策 ★平地林の実態調査、平地林マップづくりと活用 ★平地林の保全・整備 ○河川などの生物の生息学習会 ○県南「エコもり地域推進協議会」との連携による保全活動の展開							

○令和4年度の取組状況

◆協働の取組

県の補助事業を活用した地蔵山、兎山城跡及び上台の通学路の保安全管理を実施しました。天平の丘公園内の平地林については定期的に清掃を実施し、また、新たに樹木マップを作成し、作成した樹木マップをもとに平地林への散策を誘導することができました。

◆市の取組

平地林マップを作成し、本市の平地林の情報発信、マップをもとにした平地林保安全管理・整備活動を進めました。

市内小学校で、木工教室の開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止いたしました。同時開催した「消費者まつり・環境フェア」においては、感染対策をしながら木工教室を開催しました。天平の丘公園の枯木伐採や下草刈りを定期的に行い保全を行いました。



木工教室

○令和5年度の主な実施内容

天平の丘公園の管理を含め、県の補助事業を活用した地蔵山、兎山城跡及び上台の通学路の保安全管理を実施します。

平地林(天平の丘公園)に自生している樹木の樹種看板の更新及び新設を行います。また、樹木マップ作成のための基礎資料の収集を行います。

1-1-3 自然とのふれあいの推進

環境指標		H28(当初)	H30	R元	R2	R3	R4
自然学習を実施している学校数	取組のめやす	—	小学校12 中学校4	小学校11 中学校4			小学校8 中学校3
	実施学校数	小学校12 中学校0	小学校12 中学校0	小学校11 中学校4	小学校11 中学校4	小学校11 中学校4	小学校8・中学校3 義務教育学校1
	達成状況	—	75.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
重点的に進めていく協働の取組内容							
○学校林・学校田畑の整備と自然学習の場としての活用							
○自然とのふれあいの場づくり							

○令和4年度の取組状況

◆協働の取組

各小学校では、学校林・学校田畑の利用、地域の田畑を借用し、児童が栽培から収穫を経て調理を行い、自然とのふれあいや食の大切さを学びました。

感染症の対策を十分に行いながら栽培や収穫などの活動を行い、自然とのふれあいや食の大切さを学ぶことができました。実体験による学びとなり、深く考えながら学習できる機会を持つことができました。



里山活動

◆市の取組

農村環境保全会において、農地にコスモスの植栽を行い開放することで、自然とふれあえる場を提供しました。

【植栽作業：6月～9月】



柴地区環境保全会による景観祭

○令和5年度の実施内容

市立学校での授業や総合的な学習の時間を使用し、自然観察や体験学習などを実施します。

農村環境保全会において、地域資源である農地にコスモス等の植栽を行います。

個別目標 1-2 大地がはぐくむ豊かな水と健全な水循環の保全と再生

1-2-1 健全な水循環の保全と再生

環境指標	水道事業における有収率					
	計画策定時	H30	R元	R2	R3	R4
取組のめやす	—	毎年87%以上				
有収率	86.8%(H28)	81.4%	81.8%	77.2%	77.1%	77.3%
達成状況	—	未達成	未達成	未達成	未達成	未達成

1-2-2 豊かな水資源の保全と活用

○令和4年度の取組状況

◆市の取組

市内の小学校、8校を対象に、水道施設見学会を実施しました。【5月～7月実施】
一般市民を対象にしたリクエスト講座については、コロナウイルス感染拡大の防止のため中止しました。

下野のおいしい水「夕顔のしずく」を道の駅しもつけで販売し、安全性をPRしました。

「しもつけ水道ニュース」を2回発行し、公民館や図書館、公共施設等で自由に持ち帰れるよう設置しました。また、市のホームページに掲載しました。



下野のおいしい水「夕顔のしずく」

水道水源の定期的な水質検査を実施しました。

配水施設6箇所

- ・ 9項目【一般細菌、大腸菌、塩化物イオン、有機物（全有機炭素量TOC）、PH値、味、臭気、色度、濁度】の検査を毎月実施
- ・ 他27項目の検査を四半期ごとに実施
- ・ 他51項目の検査を年1回実施

道路側溝・浸透柵の清掃を行い、雨水処理の維持管理を実施しました。

【道路側溝清掃 1350.0m、浸透柵清掃 4箇所

道路側溝整備 299.0m、浸透柵設置 3箇所、浸透槽設置 0箇所】

○令和5年度の実施内容

リクエスト講座や水道施設見学会の実施、しもつけ水道ニュースの発信など、「下野市の水」についての普及啓発活動を実施します。

水質汚濁防止法及び県条例に基づき、異常水質事故などへの対応、指定揚水施設届出受付業務を行います。

水道水源の水質検査を継続して実施します。

個別目標 1-3 環境にやさしい産業の推進

環境指標	農産物の下野ブランド認定数					
	計画策定時	H30	R元	R2	R3	R4
取組のめやす	—	5件 (R4)				
認定数	4件(H28)	5件	6件	6件	5件	4件
達成状況	—	達成	達成	達成	達成	未達成

1-3-1 地域資源を活かした産業の推進

環境指標	H28(当初)	H30	R元	R2	R3	R4
食育の推進	取組のめやす	—	家庭や学校、地域での食育や地元食材の体験学習が進められ、食と農と環境が調和したまちづくりが進められています。			
	推進状況	推進中	推進中	推進中	推進中	推進中
	達成状況	—	—	—	—	—
学校給食への安全・安心な下野市産農畜産物や加工品の活用	取組のめやす	—	下野市産農畜産物や加工品の地産地消が進められ、安全・安心な食材としてのブランド化をめざして、生産が進められています			
	推進状況	推進中	推進中	推進中	推進中	推進中
	達成状況	—	—	—	—	—

○令和4年度の取組状況

◆協働の取組

各市立学校の栽培計画により、校内の自然園や畑、地元から借用した水田を活用して、栽培から収穫まで一貫した体験学習を行いました。

小中学生を対象に「朝食の簡単料理レシピ」の募集を行いました。(応募者 2,164 人)

総合的な学習の時間の一環として、各学校で食育が推進されました。また、毎月19日頃を「しもつけいっぱいday」と設定し、市内産の食材や郷土料理を取り入れた学校給食の提供ができました。これにより、地域をいかした産業の推進に繋がりました。

旬の野菜レシピを作成し、全体で103回レシピを配布しました。【庁舎、保健センター、健診結果説明会、乳幼児健診、病態栄養相談、健康教室等】

市ホームページでは食育月間や野菜摂取月間に合わせて、旬の野菜レシピの他、郷土料理メニューや野菜を使用した親子で作るおやつレシピを掲載しました。

どの年代でも簡単に作れて食べやすい野菜レシピを掲載し、野菜料理の摂取の向上や旬の食材を献立に取り入れ、地産地消を推進することができました。

◆市の取組

地産地消推進計画、食育推進計画を市のホームページに掲載し、食育活動や地産地消の推進について周知を図りました。

○令和5年度の主な実施内容

各学校において栽培から収穫まで一貫した体験の機会をととした食育の推進を図ります。食育だよりの発行を継続します。各施設や各種健康教室などでレシピ配布や市のホームページ掲載による地産地消の推進を図ります。



農業体験（稲刈り）

環境指標		H28(当初)	H30	R元	R2	R3	R4
下野ブランドの認定数	取組のめやす	—	44件				
	認定数	32件	34件	33件	33件	32件	32件
	達成状況	—	77.3%	75.0%	75.0%	72.7%	72.7%
重点的に進めていく協働の取組内容							
★地産地消のブランドづくり						※★は市の重点的施策	
★下野市産農畜産物・加工品の活用、学校給食への安全・安心な下野市産農畜産物の活用							

○令和4年度の取組状況

◆協働の取組

「しもつけ BRAND フェア」はコロナウイルス感染症の影響により開催を見送りましたが、天平の桜歌会実施日に下野ブランド PR ブースを設置し、来場された方を対象に、ブランドの PR を行いました。

また、東京ソラマチ、上野駅などで行われた栃木県主催のイベントにおいて PR ブースを設置し、下野ブランドの周知を行いました。

児童生徒一人当たり 300 円を賄材料費として助成し、学校給食を通じて地元農産物の魅力を伝え、食育に繋がりました。

【児童・生徒総数 4,661 名、助成額 1,398,300 円】

◆市の取組

下野市特産物を使ったゆうがおレストランの新メニューや、加工品の新メニュー開発支援をすることができました。

しもつけ燈桜会を実施し、集客力強化のため同会場で「いちご一会とちぎ国体下野市炬火式」や東の飛鳥プロジェクトでのコンテスト、ファッションショーを行いました。

県民の注目度が高い国体の市炬火式を行うことで、多くの人に地域の魅力を発信できました。

また、ファッションショーは公園に来てもらい、東の飛鳥を知ってもらうきっかけづくりとして開催しました。



燈桜会

○令和5年度の実施内容

下野ブランドを市内外に広く発信することで、「下野市」の知名度を高め、地域経済の発展、人的交流の拡大、地域の活性化を図ります。

下野ブランドの周知を図るためのイベント「しもつけブランドフェア」を開催します。学校給食への地元農畜産物の購入費用を助成します。

農業者による新メニュー開発等を支援します。

市民活動補助事業として選定された事業（市民活動団体）に対し、補助金交付による支援を行います。【食育を含む学習支援団体 1 件】

1-3-2 環境に配慮した産業の推進

環境指標		H28(当初)	H30	R元	R2	R3	R4
認定農業者数	取組のめやす	—	310人				
	認定農業者数	288人	293人	292人	293人	296人	298人
	達成状況	—	94.5%	94.5%	94.1%	95.5%	96.1%
環境配慮の推進	取組のめやす	—	環境に配慮した事業活動をおこなう事業所が増えています。				
	実施状況	推進中	推進中	推進中	推進中	推進中	推進中
	達成状況	—	—	—	—	—	—
エコ(ショップ&オフィス)の普及(登録数)	取組のめやす	—	エコショップ20店(R4)、エコオフィス100事業所(R4)				
	登録数	エコショップ14店 エコオフィス80事業所	エコショップ14店 エコオフィス75事業所	エコショップ14店 エコオフィス76事業所	エコショップ13店 エコオフィス73事業所	エコショップ13店 エコオフィス73事業所	エコショップ13店 エコオフィス73事業所
	達成状況	—	エコショップ70% エコオフィス75%	エコショップ70% エコオフィス76%	エコショップ65% エコオフィス73%	エコショップ65% エコオフィス73%	エコショップ65% エコオフィス73%
重点的に進めていく協働の取組内容							
<p>★エコ(ショップ&オフィス)の普及 ※★は市の重点的施策</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自然環境や快適環境などの保全・再生・創出の推進 ○公害の未然防止、生活環境保全対策の推進 ○省資源・省エネ対策の推進 ○市及び市民等の環境配慮行動、環境保全活動などへの協力 ○エコビジネスの育成 ○環境関連産業の育成推進 ○エコファーマー、エコプロダクツなどの普及 ○エコポイント導入の検討 							

○令和4年度の取組状況

◆協働の取組

ごみ減量化及びリサイクル並びに環境保全に積極的に取り組む事業者をエコショップエコオフィスに認定し、広く市民に周知することにより、ごみの減量化等の一層の推進を図りました。

地域農業の担い手としての認定農業者の増加を進めました。農業者の経営状況などを確認し、認定農業者の新規認定や再認定を行いました。

地域農業の担い手として、新たに8人の認定農業者が誕生しました。

また、認定農業者に対して耕作が困難になった農地のあっせん情報や、生産拡大や環境に配慮した取組に対して助成事業を行いました。

◆市の取組

エコファーマーの認定者や特別栽培農産物に取り組む農業者を支援するために、環境保全型農業直接支払交付金を3団体に交付しました。

○令和5年度の実施内容

広報紙やホームページ等でエコショップ&エコオフィス制度の周知を行い、新規登録事業者の参加を促進します。

広報紙やホームページを通じて周知を図り、地域農業の担い手としての認定農業者の増加を図ります。

環境保全型農業に取り組む事業者へ補助金を交付します。

個別目標 1-4 良好な景観と歴史文化がかおるまちづくり

環境指標		「しもつけの伝説」の年間販売数					
		計画策定時	H30	R元	R2	R3	R4
	取組のめやす	—	毎年10冊以上				
	年間販売数	29冊(H28)	79冊	66冊	22冊	26冊	43冊
	達成状況	—	達成	達成	達成	達成	達成

1-4-1 歴史的・文化的環境の保全

環境指標		H28(当初)	H30	R元	R2	R3	R4
文化財保存会等によるイベント参加者数	取組のめやす	—	2,300人 (R4)				
	実施学校数	1,836人	2,690人	250人	281人	641人	2,080人
	達成状況	—	117.0%	10.9%	12.2%	27.9%	90.4%
重点的に進めていく協働の取組内容							
○文化財保存会によるイベントなどの企画・実施							
○歴史的景観を生かした植物の再生							
○史跡地の除草活動							

○令和4年度の取組状況

◆協働の取組

市内の小中学校で清掃活動や体験学習を実施しました。

【南河内小中学校3年生によるエゴマ定植・収穫・見学2回(合計172名)

国分寺小学校・国分寺中学校による下野国分寺跡落葉清掃を実施(235名)】

ボランティアとの共催のイベント開催は中止。

下野薬師寺史跡まつりでは、梅の開花期間中に合わせて、ものづくりワークショップを行いました。【参加者456名】

また、落内遺跡第4次調査写真パネル展を行いました。

◆市の取組

市役所窓口やグリムの館、下野薬師寺歴史館などで「下野市ふるさとかるた」や「下野市の伝説～ふるさとめぐりの旅～」の販売を行い、市内に古くから語り伝えられた伝説や民話、暮らしの知恵を発信しました。

【販売冊数 伝説43冊、かるた49冊】



落ち葉さらい

○令和5年度の実施内容

ボランティアとの共催により下野薬師寺史跡まつりを開催します。

国指定史跡が区域内にある小学校を対象に、体験学習を実施します。

史跡の範囲確認のために、三王山南塚古墳群の発掘調査を実施します。

1-4-2 良好な景観の保全と創造

環境指標		H28(当初)	H30	R元	R2	R3	R4
しもつけ景観マップの作成	取組のめやす	—	R4までにマップ作成・情報発信				
	作成・情報発信	—	推進中	推進中	推進中	推進中	作成
	達成状況	—	—	—	—	—	達成
重点的に進めていく協働の取組内容							
○景観マップづくり、しもつけ景観20選							
○耕作放棄地の解消と環境保全機能の向上							

○令和4年度の取組状況

◆協働の取組

市内の良好な景観や自然環境の素晴らしさをPRするため、下野市観光協会主催によりフォトコンテストを開催しました。【募集期間：令和4年7月～12月】
 フォトコンテストの展示により、下野市の良好な景観を市民に発信できました。

◆市の取組

道路の緑地帯、空地等に草花の苗・宿根の植付け、花木の苗を植栽し、花と緑のある道路環境の美化を図り、自然環境の保全、道路愛護思想を波及させるため、「花いっぱい事業」を実施しました。【愛ロードしもつけ 45団体 年間6回以上】

小中学校道路愛護活動を行い、学校周辺の道路の美化活動及び緑地帯の花植栽活動を実施しました。【7小中学校 参加者 1,000人以上】

農村環境保全会において、地域資源である農地、農道などにマリーゴールド等の植栽を行い、景観形成活動を実施する。

景観計画策定委員会を開催し、地域の特性を活かした個性ある景観づくり、次世代へつなぐ持続的な景観づくりを市民・事業者・行政の協働による景観計画の基本目標として位置づけることができました。

下野市景観条例に基づき、本市の良好な景観の形成に関する事項を調査審議するために環境審議会を設置しました。【第1回景観審議会 7月22日開催】

○令和5年度の主な実施内容

市内の魅力的な景観や自然環境の素晴らしさをPRするため、素材収集を行います。
 下野市観光協会主催によりフォトコンテストを開催します。

農村環境保全会において、地域資源である農地、水路、農道などにマリーゴールド等を植栽することにより、景観の形成を図ります。

市民活動補助事業として選定された事業（市民活動団体）に対し、補助金交付による支援を行います。【住宅の緑化・ガーデニング推進団体 1団体】

個別目標 2-1 さわやかで澄んだ大気や水の保全と向上

環境指標		公用車として使用される低環境負荷型自動車台数					
		計画策定時	H30	R元	R2	R3	R4
取組のめやす	取組のめやす	—	17台(総計)				
	台数	16台(H28)	12台	15台	17台	19台	19台
達成状況	達成状況	—	70.6%	88.2%	100.0%	111.8%	111.8%

2-1-1 大気・水・土壌環境の保全と向上

環境指標		H28(当初)	H30	R元	R2	R3	R4
下水道普及率	取組のめやす	—	87.7% (R4)				
	普及率	76.3%	77.1%	77.7%	78.0%	80.1%	80.6%
	達成状況	—	未達成	未達成	未達成	未達成	未達成
水洗化率	取組のめやす	—	95.4% (R4)				
	取組状況	94.3%	94.6%	95.2%	96.1%	87.3%	87.3%
	達成状況	—	未達成	未達成	未達成	未達成	未達成
大気に係る苦情処理件数	取組のめやす	—	H28(当初)より改善				
	件数	20件	9件	11件	9件	7件	14件
	達成状況	—	減少	減少	減少	減少	減少
水質に係る苦情処理件数	取組のめやす	—	H28(当初)より改善				
	件数	4件	9件	0件	1件	4件	3件
	達成状況	—	増加	減少	減少	横ばい	減少
地下水汚染地区数	取組のめやす	—	H28(当初)より改善				
	地区数	8地区	9地区	9地区	10地区	11地区	10地区
	達成状況	—	増加	増加	増加	増加	増加
重点的に進めていく協働の取組内容							
○大気環境、水環境、土壌・地下水環境の監視と汚染防止							

○令和4年度の取組状況

◆協働の取組

違法な野焼きや水質汚濁公害について、市民等からの通報やパトロールにより発生状況を把握し、随時職員による対応を実施しました。 【野焼き苦情件数 9件】

公害苦情受付件数の推移

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
騒音	4	5	9	10	14
振動	0	0	0	0	0
悪臭	6	4	2	5	10
土壌	0	0	0	0	4
その他	126	74	127	129	142

※その他・・・空き地の雑草繁茂、空き家の管理、虫の発生など

水質汚濁公害対策として工業団地排水の水質調査を実施しました。環境汚染を防止するため、水質汚濁の被害予防に効果がありました。今後も調査を継続して水質状況を注視していきます。

工業団地調整池等の水質調査結果

単位：mg/l (pHを除く)

		pH (5.8~8.6)	BOD (25)	SS (50)	窒素含有量 (120)	リン含有量 (16)	亜鉛含有量 (2)
下坪山工業団地	R4. 7月	9.9	2.4	13	2.4	0.1未満	0.1未満
	R4. 9月	8.4	4.3	5	2.1	0.1未満	0.1未満
	R4. 12月	8.4	15	24	11	0.3	0.2
	R5. 3月	8.9	16	55	21	0.6	0.1未満
西坪山工業団地	R4. 7月	7.4	5.1	15	3.6	0.4	0.1未満
	R4. 12月	7.5	3.0	9	5.2	0.4	0.1未満
柴工業団地	R4. 7月	7.3	7.4	17	3.5	0.3	0.1未満
	R4. 12月	7.2	3.3	3	2.2	0.1未満	0.1未満
石橋第3工業団地	R4. 7月	7.8	5.1	12	6.7	1.3	0.1未満
	R4. 12月	7.5	3.5	22	4.5	0.8	0.1未満

※ () 内の数字は基準値

下水道未整備区域への公共下水道の整備

28.28ha (整備済延べ面積 1125.77ha)

下水道普及率 80.6% (延べ水洗化人口 42,076人、水洗化率 87.3%)

◆市の取組

騒音・振動、悪臭など生活公害に関する市民からの苦情に対し、「騒音規制法」や「振動規制法」、「栃木県生活環境の保全等に関する条例」等の関係法令に基づき、職員による行為者への指導等対応を実施しました。

市内の環境騒音測定を実施しました。

- ・自動車騒音測定 9路線 測定時期 11月24日、11月25日
- ・一般環境騒音測定 4か所 測定時期 3月1日
(旧国分寺庁舎、石橋公民館、柴公園、ウサギ公園)
- ・新幹線鉄道騒音測定 2か所 測定時期 11月21日、11月28日
(小金井、薬師寺)

光化学スモッグ発生時、県から注意報等が発令された場合は関係各課に連絡し学校や体育施設などに注意喚起しました。

発令状況実績

(測定場所：南河内庁舎南車庫)

年 度	H28	H29	H30	R 元	R2	R3	R4
注意報	3日	5日	2日	2日	2日	1日	1日

令和4年度の更新車両は低環境負荷型自動車の選択ができませんでしたが、環境負荷の少ない自動車を選択しました。

幹線道路等の整備において、低排出ガス対策型重機を用いて工事を行うことにより、交通渋滞の緩和と環境負荷の低減を図りました。

【整備路線 5路線（整備中の路線を含む）、整備延長 L=430.6m】

幹線道路等の傷んだ舗装の修繕を実施することで、車両通行時の騒音低下を図り、道路環境の改善を行いました。【大規模修繕 4路線、整備延長 L=1732.0m】

畜産業における悪臭防止対策を目的とした消臭剤等購入補助を実施しました。

【消臭剤購入費用の一部補助 22件】

○令和5年度の主な実施内容

通報や市内パトロール、水質調査などにより公害発生状況を把握して、公害防止のために適切な対応を実施し、環境基準の維持向上を図ります。

公用車導入時には環境負荷の少ない自動車の調達に努めます。

道路の整備・修繕を行い、円滑な交通の流れの維持し交通渋滞を緩和するとともに、工事には低排出ガス対策型重機を使うことで環境負荷の低減を図ります。

街路灯新設時や灯具交換に伴う修繕工事において、LED照明への切り替えを実施します。

畜産業における悪臭防止対策、消臭剤等購入時の一部補助を実施します。

県央浄化センター施設公開 Day などのイベントで下水道の啓発を行います。

個別目標 2-2 安心してくらす安全で快適な生活環境の確保

環境指標		歩道設置道路延長					
		計画策定時	H30	R元	R2	R3	R4
	取組のめやす	—	74,000m(総計)				
	道路延長	71,500m(H28)	71,701m	72,009m	72,846m	73,380m	73,548m
	達成状況	—	96.9%	97.3%	98.4%	99.2%	99.4%

環境指標		H28(当初)	H30	R元	R2	R3	R4
環境美化活動の参加者数	取組のめやす	—	10,400人 (R4)				
	参加者数	8,112人	7,751人	8,017人	中止	8,400人	6,092人
	達成状況	—	74.5%	77.2%	—	80.8%	58.6%
不法投棄件数	取組のめやす	—	現状より改善				
	件数	23件	98件	33件	48件	69件	35件
	達成状況	—	増加	増加	増加	増加	減少
重点的に進めていく協働の取組内容							
★クリーン作戦など環境美化の推進						※★は市の重点的施策	
○ごみの不法投棄防止・監視、ポイ捨ての防止							
○空地・空家の監視と保全							

2-2-1 環境美化の推進

○令和4年度の取組状況

◆協働の取組

5月29日(5月の最終日曜日)を中心とした県の環境美化運動に合わせて、市内全域における自治会と事業者によるゴミ拾い等の新型コロナウイルス感染拡大防止対策をして清掃活動を実施いたしました。

空地の所有者へ空地管理の啓発を行い、希望者を対象に雑草等除去受託事業を実施しました。近隣苦情からの受委託がほとんどであり、空地の適正管理に効果を上げています。【雑草等除去受託面積 3,381㎡】

◆市の取組

廃棄物監視員12名による巡回パトロールや投棄物の回収を実施し、土や廃棄物など不法投棄の早期発見に繋げることができました。

○令和5年度の実施内容

県のとちぎ環境美化県民運動を実施します。

雑草等除去受託事業を実施します。

廃棄物監視員によるパトロールを実施します。

2-2-2 安心して歩ける歩行環境の整備

環境指標		H28(当初)	H30	R元	R2	R3	R4
路上喫煙の防止	取組のめやす	—	路上喫煙防止条例の制定				
	制定状況	—	推進中	推進中	条例制定	条例制定	条例制定
	達成状況	—	—	—	達成	達成	達成
重点的に進めていく協働の取組内容							
★歩行、自転車利用の安全確保						※★は市の重点的施策	
○路上喫煙の防止(条例化検討)							

○令和4年度の取組状況

◆市の取組

市内各駅に設置している自転車駐車場の管理運営を行うとともに、放置禁止区域に放置された自転車の撤去、管理を行うことで交通環境を確保し、通行の危険回避と景観の美化を図りました。

【自転車駐車場利用者数 296,487件、 放置自転車撤去台数 33台】

子どもたちの通学路の安全確保を図るため、下野市通学路安全推進会議を開催し、危険箇所の合同点検や学校からの通学路整備要望箇所について検討及び整備等の対応を行いました。【会議開催日 令和4年10月19日(水)、令和5年2月28日(火)】

スクールガードボランティアの育成のため、研修会を開催しました。

【研修会開催日 令和4年5月12日(木)】

通学路などの舗装のカラー化や、区画線の設置により、歩行者の安全性が向上しました。【舗装のカラー化 500m、区画線設置 3,482m】

適正な街路樹管理を行いました。市民からの要望にはできるだけ早急に対応するよう心掛けました。

路上喫煙調査を行い、環境審議会において、条例の検証状況を報告しました。

○令和5年度の実施内容

通学路の危険箇所の整備及びスクールガードボランティアの育成により、子どもたちの通学路の安全確保に努めます。

駅周辺の放置自転車対策を実施します。

歩行者等の利便性向上のため、駅周辺のバリアフリーに関する整備計画の推進を図ります。

下野市内3駅で路上喫煙調査を行い、検証状況を環境審議会等へ報告をしていきます。

2-2-3 防災・減災の推進

○令和4年度の取組状況

◆市の取組

市HPや市広報等で市民向けに防災情報についての周知を行いました。

自治体やコミュニティ、小学校等において防災講話を行いました。市民に対して防災情報の周知を行うことができました。

小学校や育成会、団体及びまちづくりリクエスト講座等において防災講話を実施しました。防災講話をとおして市の防災の取り組みや、災害発生時の市の初動態勢などについて説明することができました。

旧国分寺西小学校において、職員及び箕輪自治会による避難所運営・避難訓練を実施しました。

市民協同推進課が配付する自治会長向けハンドブックにおいて、自主防災組織づくりについて掲載することができ、令和4年度は2自治体が自主防災組織を立ち上げました。また、通年をとおして自主防災組織づくりに関する相談に応じ、支援することができました。

65歳になるひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯を対象に調査票を送付し災害時避難行動要支援者の緊急連絡先等の名簿を作成しました。

災害に強い安全なまちづくりを進めるため、木造住宅耐震診断等事業及び木造住宅耐震改修等事業に対し補助をしました。【木造住宅耐震診断3件、木造住宅耐震改修4件】

県が主催する「災害時の廃棄物処理に係る初動対応訓練」や研修会等に参加して県自治体との間で災害時の対応について、県内市町と認識を共有することができました。

○令和5年度の主な実施内容

防災の取組や災害発生時の初動態勢などについての説明会を、市内小中学校や公民館等で開催します。

耐震アドバイザー派遣や木造住宅耐震診断、木造住宅耐震改修等事業の補助事業を引き続き実施します。

個別目標 2-3 放射性物質による環境汚染への対応

2-3-1 放射線汚染状況のモニタリングと情報提供

環境指標		H28(当初)	H30	R元	R2	R3	R4
放射能汚染状況 のモニタリング	取組のめやす	—	モニタリング測定結果などの情報が公表されています				
	公表状況	推進中	推進中	推進中	推進中	推進中	推進中
	達成状況	—	—	—	—	—	—
重点的に進めていく協働の取組内容							
○放射線及び放射線汚染状況に関する情報の提供							

○令和4年度の取組状況

◆協働の取組

◆市の取組

放射線測定モニタリングを「道の駅しもつけ」において毎日実施しました。

各施設における放射線量の状況について、市のホームページを通して情報提供を行いました。

下野市内を3地区に分け、放射線量測定器を活用し放射線測定を実施しました。市内3箇所（南河内地区（南河内第二中）、国分寺地区（国分寺中）、石橋地区（石橋中））の測定結果を下野市教育情報ネットワーク「けやきネット」にて公開。

放射線量は基準値内を維持しており、数値は安定している状況です。

毎月、市内小中学校1校と国分寺給食センター（計2か所）の食材をそれぞれ1ずつ、放射線量測定を行い、検査結果を市のホームページにて公表しました。検査結果はすべて規定値以下でした。

○令和5年度の主な実施内容

県の放射線測定モニタリングを含め、各公共施設等や農産物等の放射線量測定結果などの情報提供を実施します。

市内6か所の配水場において、水道水の放射性物質検査を行います。

市内の3か所を測定学校とし、毎月始めに測定した結果を「けやきネット（教育情報ネットワーク）」で公開します。

個別目標 3-1 ごみゼロ社会の形成

環境指標	家庭用生ごみ処理機器等設置費補助金の年間交付件数					
	計画策定時	H30	R元	R2	R3	R4
取組のめやす	—	機械式15件(R4) コンポスト20件(R4)				
補助金交付件数	機械式11件(H28) コンポスト16件(H28)	機械式12件 コンポスト11件	機械式18件 コンポスト17件	機械式27件 コンポスト9件	機械式27件 コンポスト12件	機械式25件 コンポスト22件
達成状況	—	機械式91.7% コンポスト68.8%	機械式163.6% コンポスト94.1%	機械式245.5% コンポスト56.3%	機械式245.5% コンポスト75.0%	機械式227.0% コンポスト137.5%

3-1-1 リデュースの推進（3R活動の推進）

環境指標	H28(当初)	H30	R元	R2	R3	R4	
3Rの普及活動	取組のめやす	—	3R意識が普及し、ごみの減量化が進んでいます。				
	実施状況	推進中	推進中	推進中	推進中	推進中	推進中
	達成状況	—	—	—	—	—	—
重点的に進めていく協働の取組内容							
○ 3R 活動の推進によるごみの発生抑制(リデュース)の推進、リユース・リサイクルの推進など、ごみ減量意識の普及・啓発							

※3Rとは、資源の無駄遣いをなくし、ごみを減らす【Reduce】、使えるものを再使用する【Reuse】、そして資源を再生利用する【Recycle】のことで、環境と経済を両立する循環型社会の構築にかかすことのできないものと言われています。

○令和4年度の取組状況

◆協働の取組

「ごみの減量化」をテーマに、小中学生を対象としたポスターコンテストを実施しました。テーマを大きく設定したことにより、様々な視点から関心を持つきっかけを作ることができました。受賞作品は広報やホームページへの掲載及び市イベントブースでの展示を実施し、多くの市民の方の目に触れることで更なる啓発を図ることができました。【応募件数 591件】

ごみの減量、資源化の推進を目的とした啓発を実施しました。

◆市の取組

市のごみ減量化ポスターコンテスト入賞作品を市庁舎ロビーに展示し、ごみの分別に対する周知に努めました。

○令和5年度の主な実施内容

国・市主催によるポスターコンクールの周知を行い、作品を募集します。
広報紙、ホームページ、ごみ分別アプリを利用し、ごみ減量化への啓発を図ります。

令和4年度下野市ごみ減量化ポスターコンテスト最優秀作品



【小学校低学年の部】
古山小3年生の作品



【小学校高学年の部】
南河内小中5年生の作品



【中学校の部】
南河内第二中2年生の作品



3-1-1 リデュースの推進（ごみの発生抑制）

環境指標		H28(当初)	H30	R元	R2	R3	R4
市民1人1日当たり ごみ排出量(資源物、 事業系ごみを含む)	取組のめやす	—	707g (R3)				
	実績値	719g	724g	729g	746g	776g	706g
	達成状況	—	97.6%	97.0%	91.2%	94.8%	99.9%
家庭系ごみ(単位g/ 人・日)(資源物を除 く排出量)	取組のめやす	—	624g (R3)				
	実績値	628g	629g	622g	681g	665g	633g
	達成状況	—	99.2%	99.7%	91.6%	95.3%	98.6%
事業系ごみ(単位t/ 年)(資源物を含む 排出量)	取組のめやす	—	1,748t(R3)				
	実績値	1996t	2,096t	2350t	2,064t	1,986t	1,981t
	達成状況	—	80.1%	74.4%	84.7%	88.8%	88.2%
重点的に進めていく協働の取組内容							
★マイバッグの推進(レジ袋削減など) ※★は市の重点的施策 ★生ごみの減量化 ○容器包装類や使い捨て容器の削減 ○エコクッキングの推進							

○令和4年度の取組状況

◆協働の取組

プラスチック容器包装などの分別収集について広報紙に掲載し、普及啓発を図りました。

家庭用生ごみ処理機等購入者に対して、助成事業を実施しました。ごみ減量化を目指し、制度の更なる周知を図ります。【補助件数 機械式 25件 コンポスト 26件】

環境フェアで、水切りネット、雑紙ストック用ゴミ袋を配布し、ごみ削減の意識啓発を図りました。

◆市の取組

令和4年度版の行政カレンダーの配布を行いました。

広報紙の環境トピックスに分別排出の啓発記事を掲載しました。

ごみ分別促進アプリ「さんあ〜る」の情報を随時更新し、分別ルールの周知を図りました。

行政カレンダー、広報しもつけ、ごみ分別アプリ等により市民への情報提供を行ったことにより、分別排出の徹底を図ることができました。

○令和5年度の実施内容

ごみの減量化を図るため、家庭用生ごみ処理機購入補助を継続します。

ごみの分別に関する普及啓発活動を行います。

自治会等を対象とした、ごみの分別説明会を実施します。

3-1-2 リユース・リペアの推進

環境指標		H28(当初)	H30	R元	R2	R3	R4
リユース容器の活用	取組のめやす	—	イベントなどにおいてリユース容器が活用されています。				
	実施状況	推進中	推進中	推進中	推進中	推進中	推進中
	達成状況	—	—	—	—	—	—
重点的に進めていく協働の取組内容							
○リユース容器の活用促進							
○フリーマーケットの普及							
○リペアセンターづくり							

○令和4年度の取組状況

◆協働の取組

不用となった物の再利用を促進するリサイクル事業を実施しました。譲渡成立件数は前年度実績から増え、ごみ削減に繋がりました。リユース等の民間業者も増加しているなどの理由から件数は減少傾向にあります。今後も毎月広報やホームページによる情報掲載を継続するほか、新たなリユースの方法を調査検討していきます。

【譲渡成立件数 20件】

◆市の取組

天平の芋煮会開催などにリユース食器を使用した際の食器レンタル費用に対し、補助金を交付しています。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響でイベントが中止となり申請はありませんでした。(リユース食器利用促進事業)

○令和5年度の主な実施内容

令和元年4月から稼働を開始した下坪山地内のリサイクルセンターにおけるリユース(再利用品)について、市ホームページに掲載し市民へ周知を行います。

不用品リサイクル事業を継続し、リユースの普及を図ります。

リユース食器利用の促進を図ります。



天平の芋煮会で販売された芋煮
【皿と箸にリユース食器を使用】

個別目標 3-2 資源が循環するしくみづくり

3-2-1 リユース・リサイクルのしくみづくり

環境指標		H28(当初)	H30	R元	R2	R3	R4
資源化率	取組のめやす	—	32%以上 (R3)				
	実績値	22.0%	22.9%	21.9%	22.4%	22.3%	21.6%
	達成状況	—	未達成	未達成	未達成	未達成	未達成
最終処分率	取組のめやす	—	4%以下 (R3)				
	実績値	10.8%	6.2%	5.4%	7.3%	4.1%	3.7%
	達成状況	—	未達成	未達成	未達成	未達成	達成
資源回収報奨金の 交付団体数	取組のめやす	—	75団体 (R4)				
	団体数	66団体	64団体	63団体	48団体	47団体	45団体
	達成状況	—	85.3%	84.0%	64.0%	62.7%	60.0%
重点的に進めていく協働の取組内容							
★分別の徹底 ※★は市の重点的施策 ○資源物の集団回収の推進 ○店頭回収の推進 ○リサイクルセンターの整備と活用、リサイクルの推進							

○令和4年度の取組状況

◆協働の取組

スマートフォン向けごみ分別アプリ「さんあ〜る」により情報を発信し、適正なごみの分別や、ごみの出し方について周知を図りました。

【累計ダウンロード数 7,921 件】

市庁舎など公共施設における廃食用油の拠点回収を行いました。回収した油は業者に引き渡しリサイクル工程を経て、飼料（豚、鳥用）、石鹸、塗料等に再生されます。

- ・回収場所 市庁舎、石橋公民館、南河内公民館、生涯学習情報センター
- ・総回収量 1,308kg

◆市の取組

自治会など資源物の集団回収実施団体に対して報奨金を交付しました。

（1kgあたり5円）

【集団回収登録団体数 45 団体、422,164 kg】

※資源物の種類 びん、ダンボール、新聞、雑誌、古布、アルミ、鉄など

ごみから資源物へ再生することを目的に、分別排出について行政カレンダーや広報紙等により情報提供を実施しました。

○令和5年度の実施内容

資源の集団回収実施団体への報奨金の交付を行います。

分別の徹底を推進するため、広報紙、ごみ分別アプリ等による普及啓発活動を行います。

個別目標 4-1 省エネの推進

4-1-1 エネルギー消費量の低減

環境指標		H28(当初)	H30	R元	R2	R3	R4
環境家計簿などの普及	取組のめやす	—	60件(R4)				
	実施状況	推進中	8件	14件	6件	5件	4件
	達成状況	—	13.3%	23.3%	10.0%	8.3%	6.6%
重点的に進めていく協働の取組内容							
★環境家計簿によるエネルギー消費量の把握とチェックの普及 ※★は市の重点的施策							
○省エネナビなど、電力エネルギー消費量表示機器の活用促進							

○令和4年度の取組状況

◆協働の取組

市広報等や市のイベント時を活用し、環境家計簿様式の配布し、省エネ行動の普及を促しました。

◆市の取組

家庭での省エネ術など、省エネに向けた身近な取り組み方をホームページや広報紙により省エネ情報の提供を行いました。環境カウンセラーによる診断結果を配布しました。

環境家計簿提出者に対して、環境カウンセラーによる診断結果を配布しました。提出者には環境カウンセラーとの面談を実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となりました。【環境家計簿提出者4名】

下野市役所地球温暖化対策実行計画に基づき、省エネ対策を推進しました。

昨年に引き続き、電力管理システムにより、市庁舎におけるエネルギー使用の効率化、電力需要の抑制と節電、電力消費量の削減に努めました。

学校と連携を取りながら、学校施設空調設備運用マニュアルを遵守するよう指導し、より良い教育環境の充実と環境負荷低減に取り組みました。

○令和5年度の主な実施内容

環境家計簿の普及促進を目的に、環境家計簿モニターを募集し、環境カウンセラーによる診断を実施します。

広報紙やホームページを通して、節電など省エネ行動の普及・啓発を図ります。

4-1-2 環境に配慮した省エネ型製品の利用促進

環境指標	—
重点的に進めていく協働の取組内容	
○環境に配慮した省エネ型製品の利用促進	

○令和4年度の取組状況

◆協働の取組

温室効果ガス排出量削減のための県民総ぐるみ行動「COOL CHOICE とちぎ」共同宣言に参加しました。エアコン、冷蔵庫を対象とした、省エネ家電購入応援キャンペーンを実施しました。

◆市の取組

下野市グリーン調達推進方針に基づき、庁内における消耗品等購入の際に環境配慮物品の優先的な調達を行いました。

防犯灯の新規設置や修繕の際に、LED照明への交換を行いました。

【新規設置数：38基、修繕時交換数：17基】

天平の丘公園花広場及び防人街道の照明設備をLED化しました。



LED化された防犯灯

○令和5年度の実施内容

電気自動車等購入費補助事業により、電気自動車（EV）及びプラグインハイブリッド車（PHV）の購入費用の一部を補助することで、低環境負荷型自動車利用を推進していきます。

防犯灯の新規設置や修繕の際に、LED防犯灯への交換を行います。

「COOL CHOICE とちぎ」などのキャンペーン協力により、省エネ型製品の普及促進を図ります。

栃木県では、温暖化対策の一層の強化を図るため、平成29年5月、県及び県内25全市町による「COOL CHOICE とちぎ」共同宣言を行いました。

「COOL CHOICE とちぎ」は、国が進める国民運動「COOL CHOICE（賢い選択）」に呼応し、温室効果ガス排出量の削減目標達成のため、省エネ・低炭素型の「製品」、「サービス」、「行動」等、温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を栃木県民一人ひとりに広げ、県民総ぐるみの行動につなげていく取組です。

個別目標 4-2 創エネ・蓄エネの推進

環境指標		再生可能エネルギーについての啓発回数					
		計画策定時	H30	R元	R2	R3	R4
	取組のめやす	—	年4回(R4)				
	啓発回数	年2回(H28)	年2回	年2回	年4回	年3回	年2回
	達成状況	—	50.0%	50.0%	100.0%	75.0%	50.0%

4-2-1 省エネ・創エネ・蓄エネの推進

環境指標		H28(当初)	H30	R元	R2	R3	R4
住宅用太陽光発電システム設置補助金交付件数(累計)	取組のめやす	—	累計1,400件以上(R4)				
	交付件数	892件	1,018件	1,092件	1,160件	1,236件	1,291件
	達成状況	—	72.7%	78.0%	82.9%	88.3%	92.2%
重点的に進めていく協働の取組内容							
★太陽光発電、小水力発電など再生可能エネルギー利用の推進 ※★は市の重点的施策							
○太陽熱利用、蓄電設備など蓄エネの普及促進							
○エネルギーの地産地消の推進							
○市民等による再生可能エネルギー活用の検討と推進							
○環境家計簿など、エネルギー消費量のチェックと低減化の促進							

○令和4年度の取組状況

◆協働の取組

太陽光発電システムの設置申請者に対して1kwあたり1万円(上限4万円)の助成を実施しました。【助成件数 56件、補助金額 2,145,000円】

補助金を交付し、低炭素社会の推進につながりました。

◆市の取組

市役所1階中央の東西通路(ATM設置個所付近)に設置したモニターに庁舎の太陽光発電状況及び地中熱利用システム稼働状況を表示することにより、来庁者に対してPRを行いました。

○令和5年度の実施内容

住宅用太陽光発電システム設置費補助のほかに令和4年度より蓄電システムも補助対象といたしました。引き続き住宅用太陽光発電システム等設置補助事業の周知啓発に努めます。

公共施設における太陽光の発電や省エネについての普及啓発活動を行います。

個別目標 4-3 環境負荷の少ないまちづくりの推進

環境指標	デマンドバス(お出かけ号)の利用者数					
	計画策定時	H30	R元	R2	R3	R4
取組のめやす	—	41,500人(R4)				
利用者数	23,554人(H28)	22,401人	22,703人	18,823人	19,127人	19,329人
達成状況	—	54.0%	54.7%	45.5%	46.1%	46.6%

4-3-1 快適な気候からなるまちづくりの推進

環境指標	H28(当初)	H30	R元	R2	R3	R4
公園美化活動ボランティア登録者数	取組のめやす	—	現状維持			
	登録者数	210人	210人	865人	1,239人	1,344人
	達成状況	—	達成	達成	達成	達成
住宅地や施設の緑化、街路樹の植栽・管理	取組のめやす	—	緑化により、歩いて心地よいまちづくりが進められています。			
	取組状況	—	推進中	推進中	推進中	推進中
	達成状況	—	—	—	—	—
重点的に進めていく協働の取組内容						
○都市緑化などによる都市熱の緩和						
○クール＆ウォームシェアに配慮したまちづくりの推進						
○エコイベントの推進						

○令和4年度の取組状況

◆協働の取組

愛パークしもつけに20団体が登録をしています。ボランティアによる公園美化活動の取組によって、公園環境の維持を図ることができています。

◆市の取組

街路樹等を利用した緑や花づくり、緑地や並木の育成保護等を活動内容とする緑化ボランティア団体に、費用の一部を交付しました。【6団体、205,000円助成】

緑の少年団として県に登録し、緑化活動を推進している学校に対し、費用の一部を交付しました。【3学校】

各団体への公園の美化活動に必要な軍手やゴミ袋などの消耗品を支給し、公園環境を維持するための支援ができました。

【5月22日 春季苗木配布会 ラベンダー 100本配布】

【10月23日 秋季苗木配布会 キンモクセイ 100本配布】

○令和5年度の実施内容

両計画に基づき、景観に配慮したまちづくり、自然環境の保全に努めます。

また、生垣奨励補助を継続することにより、緑化を推進し緑豊かな潤いのある生活環境の実現を図ります。引き続き、街路樹の適正管理に努めます。

4-3-2 省エネ・創エネ・蓄エネ型まちづくりの推進

環境指標		H28(当初)	H30	R元	R2	R3	R4
駐輪場利用台数	取組のめやす	—	2,429台/日 (R4)				
	利用台数	1,129台/日	1,079台/日	1,010台/日	787台/日	808台/日	814台/日
	達成状況	—	44.4%	41.6%	32.4%	33.3%	33.5%
エコ通勤	取組のめやす	—	通勤時の公共交通機関利用を推進しています。				
	取組状況	推進中	推進中	推進中	推進中	推進中	推進中
	達成状況	—	—	—	—	—	—
重点的に進めていく協働の取組内容							
★歩道・歩行環境の確保、自転車通行帯、自転車道・駐輪施設の整備 ※★は市の重点的施策 ○公共交通機関利用の推進、バスなど公共交通機関の利便性向上 ○エコイベントの推進							

○令和4年度の取組状況

◆協働の取組

市内各駅周辺に設置してある自転車駐車場の管理を行うとともに、駅周辺における自転車の放置を防止することにより交通環境を確保し、交通の安全と併せて美観保持を図りました。

【年間利用者数 296,487人】

【放置自転車撤去数 33件】



小金井駅東自転車駐車場

◆市の取組

サイクリングロードの草刈りにより、車幅が確保され、通行のしやすさが向上しました。

サイクリングロードのパッチングや修繕工事により、自転車のパンクや通行に伴う怪我が発生しませんでした。

地域公共交通総合連携計画に基づき、デマンドタクシーを運行しました。

【年間利用者数 19,329人】

○令和5年度の実施内容

市内自転車駐車場の適正管理と駅周辺の放置自転車防止に努めて交通環境を確保し、交通安全と美観保持を図ります。

道路の維持修繕を行うことで、歩道を含めた道路の利便性を改善し、安全な環境づくりを図ります。

個別目標 5-1 環境学習・環境保全活動の推進

環境指標		給食に使用している下野ブランド農産物品目数					
		計画策定時	H30	R元	R2	R3	R4
	取組のめやす	—	5品目(R4)				
	品目数	4品目(H28)	4品目	4品目	4品目	4品目	2品目
	達成状況	—	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	40.0%

5-1-1、5-1-2（、5-2-1、5-3-1）しもつけの環境を知る機会の充実

環境指標		H28(当初)	H30	R元	R2	R3	R4
しもつけの環境を学ぶイベントの充実	取組のめやす	—	市民団体と市及び県が連携した環境学習やイベントが充実し、多様な環境学習機会があります。				
	実施状況	推進中	推進中	推進中	推進中	推進中	推進中
	達成状況	—	—	—	—	—	—
環境副読本の作成、環境学習教材の整備	取組のめやす	—	しもつけの環境を学ぶ情報が充実し、いつでも環境について考えられます。				
	実施状況	推進中	推進中	推進中	推進中	推進中	推進中
	達成状況	—	—	—	—	—	—
重点的に進めていく協働の取組内容							
★環境学習拠点(環境学習センター)の整備検討							※★は市の重点的施策
○しもつけの環境を学ぶイベントの充実							
○環境副読本・環境情報など環境学習教材の整備と提供							

○令和4年度の取組状況

◆協働の取組

生物多様性をテーマとした展示を石橋図書館のカウンター前に設置しました。多くの来館者に関心を持っていただける展示となりました。

各図書館において、本のリサイクル市を開催しました。期間終了後もリサイクル市のコーナーを常設したところ、多くの市民に資料を還元する事ができました。

【書籍 5,394点 雑誌 2,287点】

新型コロナウイルス感染症の影響で、企業における徹底したごみの分別と再資源化の取り組みを見学する「リサイクルバスツアー」は中止となりました。しかし、中学校からの依頼を受けて、出前講座を実施し、中学生に対し廃棄物処理についての理解向上を図りました。

◆市の取組

社会科副読本活用研究会を年間8回開催したことで、しもつけの環境を学ぶ情報が充実し、環境について考えることができる資料を提供することができました。

市内小・中・義務教育学校において、特色ある教育活動に対する補助金を利用し、学校環境緑化、草花栽培活動、地域のクリーン活動をなど、学校独自の活動を実施しました。

○令和5年度の実施内容

環境学習に関する研究、小学校社会科副読本の編集を行います。

公民館講座の開催や、図書館の環境学習に関する図書企画コーナーの展示等をして環境学習の機会と教材の提供を図ります。

個別目標 5-2 環境パートナーシップの形成

5-2-1 環境交流の促進

環境指標		環境フォーラム来場者数					
		計画策定時	H30	R元	R2	R3	R4
	取組のめやす	—	100人(R4)				
	来場者数	70人(H28)	50人	中止	中止	120人	330人
	達成状況	—	50.0%	—	—	達成	達成
環境指標		H28(当初)	H30	R元	R2	R3	R4
環境フォーラムなどの定期開催	取組のめやす	—	毎年1回開催。多くの市民、市民団体が参加し、環境交流を深めています。				
	実施状況	年1回	年1回	中止	中止	年1回	年1回
	達成状況	—	達成	未達成	未達成	達成	達成
重点的に進めていく協働の取組内容							
★環境フォーラムなどの定期開催と参加促進 ※★は市の重点的施策 ★市民団体との連携によるエコイベントの実施 ○環境学習・環境保全活動機会の提供と参加促進 ○エコイベントなど環境に関するイベントの充実と参加促進 ○県との連携によるエコイベントの実施							

5-2-2 しもつけ環境市民会議との連携

重点的に進めていく協働の取組内容	
★「しもつけ環境市民会議」の活動への協力・支援 ※★は市の重点的施策 ★環境フォーラムの開催と環境交流の推進など	

○令和4年度の取組状況

◆協働の取組

「人と自然が共生した持続可能な環境都市“しもつけ”を目指して」を目指す環境像として、しもつけ環境市民会議と下野市の共催で、毎年しもつけ環境フェアを開催しています。令和4年度は新型コロナウイルス感染拡大防止対策に努め、令和5年1月29日から2月5日に下野市役所で「消費者まつり」と同時開催し、市民団体や関係機関との連携し環境保全活動に関する情報を発信することができ、また幅広い環境交流の機会を充実させ、環境パートナーシップの啓発と普及に努めることができました。

【生涯学習情報センターまつり 令和4年10月 開催縮小のため不参加】

○令和5年度の実施内容

「しもつけ環境市民会議」によるエコイベントの実施や参加協力により、市内外の環境団体との相互交流を図ります。

個別目標 5-3 環境調査・環境情報の整備と発信

5-3-1 (、5-2-1) 環境情報の発信・情報交流の充実

環境指標		H28(当初)	H30	R元	R2	R3	R4
市民活動支援サイト「Youがおネット」環境・みどりカテゴリー登録団体数	取組のめやす	—	10団体 (R4)				
	登録数	5団体	9団体	10団体	11団体	11団体	11団体
	達成状況	—	90.0%	達成	達成	達成	達成
重点的に進めていく協働の取組内容							
○市民等の環境保全活動情報の整備と発信							

5-3-1 環境情報の整備と発信・公開

環境指標		H28(当初)	H30	R元	R2	R3	R4
「しもつけの環境」の発信	取組のめやす	—	年1回 (R4)、広報やホームページ等で等の発信				
	実施状況	年1回	10月号広報掲載	市ホームページ掲載	市ホームページ掲載	市ホームページ掲載	市ホームページ掲載
	達成状況	—	達成	達成	達成	達成	達成
重点的に進めていく協働の取組内容							
★「しもつけの環境」としての環境報告・環境情報の整備及び市のホームページでの発信 ※★は市の重点的施策							
○環境調査の実施・調査結果の整備							
○環境状況、計画の進みぐあいの整理(環境報告書の作成など)							
○市民等の環境保全行動の情報整理							
○環境学習教材の整備・充実(再掲)							

○令和4年度の取組状況

◆協働の取組

本市の環境状況や環境基本計画に掲げられた取組の実施状況を取りまとめた環境状況報告書「しもつけの環境」を作成し、ホームページへの掲載により、市民に情報を提供しました。

○令和5年度の主な実施内容

環境状況報告書「しもつけの環境」令和5年度版の作成及び公表を行います。



しもつけ環境市民会議
マスコットキャラクター
【エコッピ】

しもつけの環境（環境状況報告書 令和5年度版）

発行 〒329-0492

下野市笹原26

下野市市民生活部環境課

電話 0285-32-8898

E-mail kankyou@city.shimotsuke.lg.jp